

## 東京産はちみつで体験型観光と食育を！

### 活動の経緯

東京の多摩地域は今も豊かな自然が残っている地域ですが、現在農業・畜産業に従事している方々の高齢化と共に耕作放棄地が増えています。このような問題の解決は全国的な課題ではありますが、多摩地域のような大規模な農地がない都市近郊ならではの農地の活用方法があるのではないかと思います、この地域で養蜂業を始めました。

### 活動の概要

都心からのアクセスが良いことを生かし、都内の方が気軽に来られる農業体験型観光としての養蜂体験を通して食育への取り組みに力を入れています。



体験型施設の「みつばちファーム」



瑞徳農芸高等学校の学生の見学の様子

### 活動の成果、主な実績等

みつばちファームでは東京産蜂蜜「多摩のはちみつ」を生産すると同時に、はちみつ加工食品やプロポリスなどの蜂産品を使った製品を開発し、付加価値を高めたはちみつ製品の販売に取り組んでいます。併設するみつばちファームカフェでは、自社製品のはちみつを使った料理、はちみつジェラート、ドリンクを販売しています。

みつばちファームの周りにある65aの畑に種をまき花畑を整備することで、訪れた人が憩える地域景観を作り、ミツバチの蜜源植物を確保することにも取り組んでいます。春に菜の花祭り、秋にコスモス祭を開催しています。

都心からのアクセスが良いことを生かし、観光農業としてミツバチを間近で観察できるような体験型の観光も行い、食育への取り組みも行っています。夏休み期間には児童・学生向けに「みつばち観察体験会」を開催し、主に普段都市部で生活していて生きた自然に触れる機会の少ない子供たち向けに体験イベントを提供しています。